



Persekutuan Majikan-Majikan Malaysia
マレーシア経営者連盟

事前研修レポート プレゼンテーション

アハマド・ナッサルディン・アブドゥル・ラザク
マレーシア経営者連盟 (MEF) 名誉財務担当・評議員

マレーシア

使用者団体指導者・修了者招へいセミナー
[EREF]



MEFの概要とMEFでの主な職務

- MEFは、会員が共通の関心事項について協議・議論するフォーラムを開催し、人材・労使関係の健全な原則と慣行の採用を目指す。
- MEFにおける労使関係（IR）、人材管理（HRM）、人材育成（HRD）に関連する職務は以下のとおりである。
 - 2018年よりMEFの評議員に選出され、2020年よりMEF名誉財務担当兼財務委員会議長に任命された。
 - 社会保障機関（SOCSSO）や政府・産業TVET調整機関（GITC）など、マレーシアの経営者に影響を与える全国組織の理事としてMEFを代表する。
 - 国家労働諮問委員会、労働安全衛生マスター・プラン2025、社会的責任基準に関するプロジェクト委員会などの国家委員会でMEFを代表する。
 - MEFアカデミーでHRMの卒業証書を取得する学生に講義を行う。
 - ジュネーブで開催された国際労働機関（ILO）の国際労働総会に出席する。

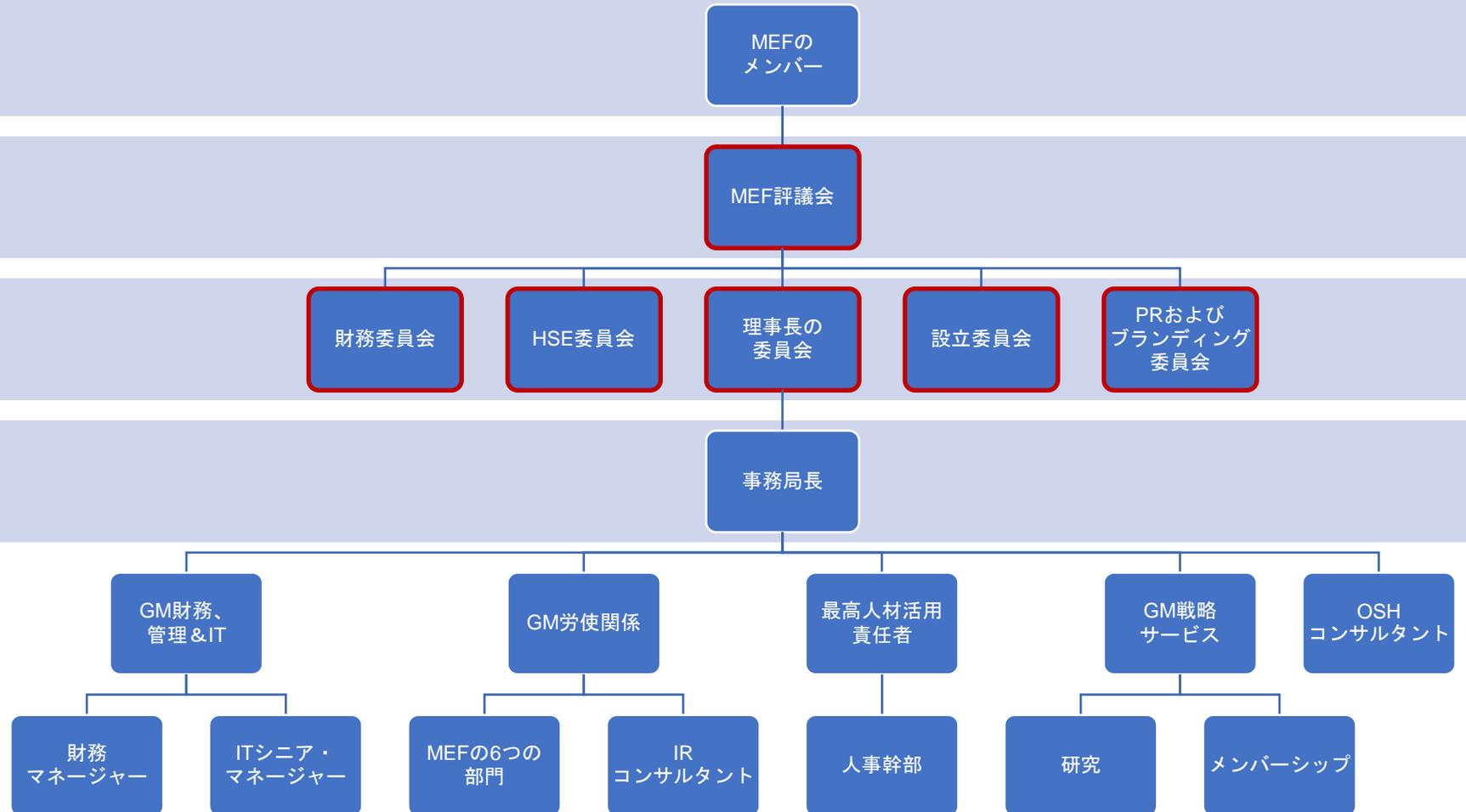


組織図

評議会

評議委員会

事務局（管理）



MEF評議会

注記：ナザの職位は赤枠で囲んだ部分

マレーシアの労働問題

- マレーシアでは、以下に挙げるいくつかの現代的な労働問題が顕在化している。
 - マレーシアにおける労働問題への規制強化
 - 特定の産業（接客業、製造業等）における人手不足
 - ギグ・エコノミーによる非伝統的な雇用の発生
 - 企業のメンタル・ヘルス対策への需要の高まり
 - 職業としての技術・職業教育訓練への関心のなさ
 - 外国人労働者の不足



外国人労働者（FW）の不足を議論することが重要な理由

- 経営者は相当数のFWを雇用していた。
 - マレーシアの労働者数は1,600万人
 - 労働者数の最大15%が外国人労働者
- MEFのメンバーは、その事業運営能力に影響するFW不足を不満に思っている。
- FW不足を早期に解消できれば、2023年第1四半期のマレーシアのGDPを1%増加させることができる、という助言が首相に寄せられた。
- マレーシア政府はFWに関する規制をいくつか導入した。

外国人労働者（FW）の不足

- マレーシアにFWが必要な理由
 - マレーシアでは、経済の3D部門（汚い（廃棄物管理など）、難しい（プランテーションなど）、危険な（建設など））に多くの労働者が雇用されている。
 - 地元の労働者は3D部門で働くことを敬遠し、移民労働者であるFWに依存している。
- マレーシアの部門別FW

部門	製造業	サービス業	建設業	プランテーション	農業	家事手伝い
雇用されたFW	412,851	163,220	273,027	137,410	99,803	84,378

外国人労働者（FW）の不足

- 深刻なFW不足と2部門での極度の不足
 - 建設業 — 55万人の建設労働者が不足
 - プランテーション — 12万人の現場労働者が不足
- FW不足の影響
 - パーム油産業はGDPに寄与する主な産業であり、外貨収入源でもある。2021年の輸出は1,090億リンギット（250億米ドル）であった。アブラヤシの実を収穫できないことによる損失は、2022年に200億リンギット（50億米ドル）と見積もられた。
 - 粗パーム油の生産量が減少している。

年	2020	2021	2022（推定）
粗パーム油生産量	1,910万トン	1,810万トン	1,800万トン

外国人労働者（FW）の不足

■ 不足した理由

- 新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり始めたとき、マレーシアは国境を閉鎖して経済活動を制限し、FWは母国に帰った。
- パンデミック後もFWがマレーシアに戻っていないため、FW不足に陥った。
- 政府は、FWを採用しようとする経営者にFWを割り当てている。

■ 不足を緩和するために行われている取り組み

- 人的資源省は、インドネシア、バングラデシュ、カンボジアとMOUを締結してこれらの供給国からのFWの入国を促進している。
- 産業界は、産業プロセスを自動化・デジタル化するさらなるインセンティブを提案している。
- 産業界は、FWの固定割り当てを多段階課税方式（FWを多く雇用するほど支払う税金が増える）に置き換えるよう働きかけている。

多段階課税方式

ILMIAが提案する現行の多段階課税方式

ティア段階	部門					
	農業およびプランテーション [1 LW : 4.5 FW]	* 建設業 [1 LW : 4 FW]		鉱業・採石業 [1 LW : 0.5 FW]	サービス業 [1 LW : 1 FW]	製造業 [1 LW : 3.5 FW]
		熟練FW	非熟練FW			
ティアー1	45%以下 640リンギット	35%以下 1,850リンギット	35%以下 2,000リンギット	20%以下 1,850リンギット	25%以下 1,850リンギット	35%以下 1,850リンギット
ティアー2	45%超65%以下 685リンギット	35%超60%以下 2,050リンギット	35%超60%以下 2,200リンギット	20%超35%以下 2,200リンギット	25%超40%以下 2,200リンギット	35%超60%以下 2,100リンギット
ティアー3	65%超81.8%以下 780リンギット	60%超80%以下 2,300リンギット	60%超80%以下 2,500リンギット	35%超50%以下 2,550リンギット	40%超50%以下 2,500リンギット	60%超75%以下 2,400リンギット

* 建設部門に対する注記

- プロジェクトに基づき承認された合計値 (OSC)
- 割り当て = 80%
- 熟練FWの15%はCIDBが認定した熟練者でなければならない
- 建設業変革プログラム (CITP) に準拠する
- 税金は2年ごとに見直す

マレーシアにおけるFW：まとめ

1
FWはマレーシアの労働力の重要な構成要素である（労働力の15%）

2
パンデミック後、FWはマレーシアに戻っていない（自国で同等の仕事を見つけた、FW割り当てが影響している、母国が手放さない）

3
政府は、供給国とMOUを締結して対応しようとしている



5
すべての施策の実施に成功し、産業界がFWへの依存度を下げつつ経営者が必要なFWを獲得することが期待されている

4
産業界は多段階課税方式を提案し、技術と自動化の利用を奨励している

